



経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から3105日原発再稼働糾弾!

第308号

編集・発行

テントひろば運営委員会

3.11 脱原発・経産省前大集会

～放射能汚染水を海に流すな、福島事故から15年目、原発回帰なんて許さない～

主催：経産省前テントひろば 3月11日(火)14時～ 経済産業省本館前へ

プログラム

日時：2025年3月11日(火)

場所：経産省本館前

【オープニング・ライブ】 13時45分～

音楽：朴保さん

【開会挨拶】 14時

主催者：経産省前テントひろばより

【ゲスト発言】 14時5分～

河合弘之弁護士

鎌田慧さん

落合恵子さん(未定)

【国会議員発言】

立憲民主党 未定

社会民主党 大椿ゆうこ議員

れいわ新選組 佐原若子議員(未定)

【音楽演奏】

朴保さん

【テントはかく闘う】 15時～

座り込み者の発言と詩の朗読

テント裁判弁護団より

【請戸テント報告】 15時30分～

【経産省請願・申入れ報告】 15時40分～

【カンパ要請+事務所維持会員募集】

アピール 15時45分～

【エンディング音楽】 15時50分

守屋真実さん

【オープン・マイク】 16時～ 以上

函館市による大間原発建設差し止め裁判

第33回口頭弁論での報告

先週2月26日(水)午後、函館市による大間原発建設差し止め裁判の第33回口頭弁論が東京地裁103号法廷にて開催され、ほぼ法廷を満席とする90名近くが傍聴をしました。以下、その概要をお知らせします。

法廷で原告・函館市は、被告・国と電源開発(株)に対して、以下3点を指摘した。

－ 地震動に関して、その震源を特定しない場合の不合理不定性があっても、社会判断は必要。科学の限界の問題でもある。

福島第1原発事故では、原子炉停止後も電源供給は必要であり、水素爆発を起こさないために、冷却水の確保が安全の確保のための必須条件だった。

－ 基準地震動に対する判例、代表的な見方(注1)の繰り返しに関して

重大事故への対処方法は、物理的に否定できるシナリオを除き、すべてに対して明確に示されなくてはならない。《隠れ断層》の存在をも明らかにすることが必要である。

－ 平均 $+2\sigma$ 、 $+3\sigma$ の問題に対して積極的な回答が為されていない点について

$+2\sigma$ で97%がカバーできたとしても十分ではない。

マグニチュード6.4以上の例証の検討が不可欠。

原告は以上の3点について投射パネルを用いて指摘した。被告側からの反論はなく、第34回の口頭弁論を9月2日(火)15:40に開催予定として閉廷した。なお、年内12月24日(水)午前10時半から、第35回期日も予定されている。

注1) ここで「代表的な見方」というのは、基準地震動と言い換えた主だった地震動の総体で、ここでは標準偏差 σ を用いて《基準 $+2\sigma$ 》と呼んでいる。それがマグニチュード6、4以下であり、それ以上をも含めた全体の97%となる。それでは不十分で、100%となる《基準 $+3\sigma$ 》までの例証の検討が必要という主張。

裁判報告会は、衆議院第一議員会館の会議室をお借りして午後4時15分から開催しました。傍聴者を含めて80名程の参加があり、6時過ぎまで続きました。(裏面に続く)

弁護団の報告に先立ち、前日に上京され、核ゴミ問題に関して関係省庁との会合を持った、《核燃サイクル阻止1万人訴訟》原告代表の山田清彦氏から発言があった。「環境省原子力規制委員会委員を任期満了で退任した石渡明氏は、原子炉稼働、40年から60年への延長に最初から反対し、30km圏内避難計画の今に至っても全くに非現実的な状況を指摘していた。」 続く原告弁護団からの報告では、口頭弁論で用いた投射パネルを使って繰り返し説明された。

その後、講演会として原発事故後 13 年間継続されてきた取材を元にしたおしどりマコ・ケンさんからの報告があった。

報告では、多くが東電・福島第一原発事故の取材に基づいているため、私たちには既に触れたことがある事柄が主であったが、特にマコ・ケンさんが示された、下記のような取材誘導や番組誘導の実態は、電通グループが原発報道を歪めてきたもので、言語に絶する惨状といえよう。

- － 電通の対原発費として、12年間で360億円が支払われている。
- － 「ふくしま農林水産物安全・安心メディア発信研究会」が 2012 (平成 24)年 5月に発足している。

－ 翌 13(平成 25)年 4月以降、前年度のセミナーおよびツアー施策に続いて構築したメディアネットワークに対して、コンテンツ編集部による「ふくしまの恵み通信」や個別の情報提供、取材誘導等を行うことにより、福島県産農産物を支援し、購買にプラスになるような記事が増加した。

*コンテンツ編集部、業務名称;番組誘導
目的; 県産農林水産物の美味しさを訴求するために、料理、旅行等 の既存バラエティ番組への県産農林水産物の取り上げを誘導する。

実施結果; 番組数、5 番組。広告費換算、817,913,600 円。
「昼めし旅 あなたのご飯みせてください」テレビ東京(3 局ネット)
対象農産物;いちじく(JA そうま) など。

低下しつつあった放射能の身体汚染に対する不安が、先年度 15.1%から 50%程に上がっているそうです。現政権の原発促進政策への回帰を皆が心配していることを示すものでしょう。

六ヶ所再処理工場の 27 回目の竣工延期。MOX 燃料加工工場、低レベル廃棄物受け入れ、貯蔵施設の完成も、すべて延期されています。ここまでに至れたのは、現地の多くの方々の努力があったおかげであり、今後再処理政策が放棄されることをめざしての闘いを、私たちも東京から応援していきます。

また、函館市の方から、3月8日の代々木公園での「さよなら原発全国集会」にあさこはうすが出店されると案内がありました。私たち、経産省前テントひろばもブースを出店します。皆さま、是非とも、お誘いあわせの上、お出かけください。

経産省前テントひろば有志 石上健二

ご案内 さようなら原発3・8全国集会 「3.11 福島原発事故を忘れない」

日 時：2025年3月8日(土)
場 所：代々木公園(NHK ホール横)
JR 山手線「原宿駅」、東京メトロ千代田線「明治神宮前駅」、千代田線「代々木公園駅」、小田急線「代々木八幡駅」下車

- 11:00~ ブース出店
- 11:40 ミニステージ 1
- 12:00 ミニステージ 2
- 13:00 オープニングライブ
- 13:30 トークライブ
- 呼びかけ人 鎌田慧さん、ほか
- 福島から(福島県民集会主催者、福島刑事告訴団)
- 再稼働など原発現地から ほか
- 15:00 パレード出発(渋谷方面・原宿方面)

2025年3月8日
代々木公園日野地区(代々木公園)会場
11:00 開会式(11:30 開演) 12:00 ミニステージ 12:00 オープニングライブ 13:30 トークライブ
呼びかけ人 鎌田慧さん、ほか
福島から(福島県民集会主催者、福島刑事告訴団)
再稼働など原発現地から ほか
15:00 パレード(渋谷方面・原宿方面)
代々木公園(日野地区)会場(代々木公園) 出店者募集中

主催：「さようなら原発」1万人署名 福島県会
実行委員：山田清彦、山田清彦、山田清彦、山田清彦、山田清彦、山田清彦
さようなら原発 1000 万人アクション実行委員会
東京千代田線千代田駅南口 2-11 経産省前(1F) 代々木公園(1F) TEL:03-6290-8224
http://tentohiroba.tumblr.com/ (11:00~15:00 受付)

編集後記

先月に発売された「地平 3 月号」には、冒頭の「知層 News in Depth」で「本質問題は消えていない-学術会議法人化法案のまやかし」(小寺隆幸著)が掲載されていた。/ここで筆者の小寺氏は、「法人化の問題点」として昨年 12 月に公表された「日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会」の最終報告書を問題にする。そして、それをもとにして石破政権が 2026 年 10 月に新たな学術会議を設立するための法案を三月上旬に今国会に提出、これが現・学術会議の解体的再編を意味すると指摘している。何故か?それは政権が学術に求めているのが、問題の根本的な切開ではなく「時間軸や問題意識を(政権政党と)共有」したうえでの政策提言だからである。/その一例として、二〇二二年に学術会議が原子力委員会の質問に対して回答した「高レベル放射性廃棄物の処分について」例を指摘し、そこで「原子力政策の国民的合意が欠如したまま最終処分計画自体を見直し、ある時点で原発から撤退し廃棄物総量を確定したうえで、放射線量減衰と新技術開発を待つため数十年から数百年地上で暫定保管することを提言した点を挙げている。そして、この提言について、政権側では科学的合理性についての議論もせず、ただ無視したという(同記事の「未来像のマヤカシ」より)。/こうした事例を取り上げて、筆者の小寺氏は「軍事研究推進への圧力」に関しても、学術会議の解体的再編は、個々の科学者を権力から守るコミュニティの弱体化を意味するという。そうした政権の狙いを阻止するには、「未来に責任が取れる判断」が必要であり、そうした力を形成するには「議論を市民社会に開くべきである」と指摘している。市民の声が広がれば、少数と党下で、法案は廃案に追い込める。(E0)

集会・行動予定

- ◆3月5日(水) 12時~13時
原子力規制委員会前抗議行動(毎週水曜)
- ◆3月7日(金) 17時~18時
経産省前抗議集会
主催：経産省前テントひろば 経産省正門前
◎ 経産省前の座り込み行動は、平日:12~16 時(月~木)、13~17 時(金)、土・日・休日:12~15 時◎
- ◆3月11日(金) 14時~
脱原発・経産省前大集会
16:30~ 日本原電本店抗議行動
18:45~19:45 東電本店前抗議行動

《経産省前テントひろば》
住 所:〒105-0003 港区西新橋 1-21-8 新虎ビル 2F
・電 話:070-6473-1947
・郵便振替口座=00160-3-267170
・口座名義=経済産業省前テントひろば
WEB: <http://tentohiroba.tumblr.com/>
Mail address: tentohiroba@gmail.com